

NPO法人古賀志山を守ろう会活動記録

活動日	令和2年10月20日(月)	活動場所	古賀志山主稜線	
活動内容	道標に危険看板敷設			
参加者	奈良忠男	佐野久雄	村田鉄三	大出忠
	平野昭夫	池田正夫		



相変わらず下山途中の転倒・転落による骨折事故が後を絶たない。当会は宇都宮中央警察署と宇都宮消防局の協力を得て、危険喚起の看板を製作した。

古賀志山大神分岐 (写真上)



古賀志山主稜線の岩場・鎖場のある箇所の手前に注意喚起の看板を付設した。特に下山中の事故が多発する傾向が目につく。転倒事故の多くは慣れた道での油断によるものと推察される。特に古賀志山は古生層の岩石だけに転倒すると事故につながり易い。

東稜見晴 (写真下)